

阪南市協働事業評価シート

記入日 2023年3月20日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

| | |
|---------|---|
| 団体名 | 子どもNPO はらっぱ (担当者名：殿井 幸代) |
| 担当課名 | 阪南市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進室 (担当者名：上野 仁) |
| 事業名 | 放課後の子どもの居場所事業 |
| 事業の実施期間 | 平成26年(西暦2014年)4月1日～ |
| 提案の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門 |
| 協働の形態 | <input type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input checked="" type="checkbox"/> その他(団体へ事業委託) |
| 事業の年度 | <input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(9年目) |

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

子どもがあらのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供することを目的とする。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

| | |
|-------|---------------------------------|
| 団体 | 実施運営・広報チラシ作成 |
| 事業担当課 | 予算措置、委託契約、補助金申請、補助金実績報告、参加者への周知 |

(3) 事業費

| | | |
|----|---------|-------|
| 団体 | 0 | 円 |
| 市 | 476,000 | 円 委託費 |
| 合計 | 476,000 | 円 |

| | | | |
|---------------|-----------|----------------|---------------|
| 初年度事業費計(H26) | 691,155 円 | 団体分担 131,155 円 | 市分担 560,000 円 |
| 2年目の事業費計(H27) | 710,958 円 | 団体分担 143,958 円 | 市分担 567,000 円 |
| 3年目の事業費計(H28) | 673,983 円 | 団体分担 106,983 円 | 市分担 567,000 円 |
| 4年目の事業費計(H29) | 694,471 円 | 団体分担 127,471 円 | 市分担 567,000 円 |
| 5年目の事業費計(H30) | 576,107 円 | 団体分担 65,807 円 | 市分担 510,300 円 |
| 6年目の事業費計(R1) | 502,987 円 | 団体分担 42,515 円 | 市分担 460,472 円 |
| 7年目の事業費計(R2) | 476,000 円 | 団体分担 0 円 | 市分担 476,000 円 |
| 8年目の事業費計(R3) | 476,000 円 | 団体分担 0 円 | 市分担 476,000 円 |
| 9年目の事業費計(R4) | 476,000 円 | 団体分担 0 円 | 市分担 476,000 円 |

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

| | |
|--------|--|
| ①名称 | 阪南市☆キッズはらっぱ |
| ②開催日時 | 毎週月曜日・水曜日・金曜日 午後3時30分～5時（夏季休暇は午後1時～5時） 毎月1回土曜日午前10～12時・毎月1回土曜日午後3～5時 |
| ③開催場所 | 西鳥取公民館・東鳥取公民館・ふれ愛ホーム 尾崎小学校・朝日小学校 |
| ④対象者 | 小中学生 |
| ⑤参加人数 | 年間1200～1300人 |
| ⑥事業の内容 | 子どもがりのままの自分でいられ、休息を取り戻し、自由に友だちとあそび、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を定期的に地域に開設し、提供する。 |
| ⑦収益 | 参加費無料（収益無し） |
| ⑧その他 | |

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・東鳥取公民館では、東鳥取小学校、上荘小学校の親子が参加していた。 ・西鳥取公民館では、夏季休暇の間、西鳥取校区以外の子どもたちも参加した。 ・土曜日開設のふれ愛ホームでは、中学生の参加もありボランティアの青年と異年齢の交流があった。平日の参加が出来ない子どもたちには楽しく過ごせる居場所になっているようで参加者も多かった。 ・感染症対策を徹底して実施した。コロナ対策が引き続き学校内外でも行われ、マスク着用が必要な生活様式のなか、様々なストレスを抱える子どもたちにとって必要な場所であり大切な放課後の居場所であることを改めて感じた。 ・平日に参加できない子どもたちが身近な校区で参加できるよう、尾崎小学校、朝日小学校で土曜日の午前開設を実施した。尾崎小学校では、学童保育の子どもたちが指導員付き添いで参加し、日頃の学童保育とは違うようで、体育館で思いっきりあそぶ姿が見られた。 ・土曜日の午後、ふれ愛ホームでの開催については、子どもNPOはらっぱ自主事業の「あそぼうディ（上荘小学校体育館）」を同日の午前に行うことで、学校へキッズはらっぱのチラシを配布することができ、午前に引き続き午後のキッズはらっぱに参加する上荘小学校の小学生が多く見られた。 |
|---|

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

- ・昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症防止に強化のため対策の見直しマニュアルの読み合わせなど、スタッフ間で情報を共有した。会場ではマニュアルに沿って対応、連絡先カードの回収も徹底して行うなど、子どもたちの感染防止に努めることができた。
- ・毎月学校配布する案内チラシ「キッズカレンダー」とともに、開催小学校限定のチラシも配布し、広報に努めた。

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点） ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点） ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

| | 評価項目 | | 評価点 | | |
|-------|------|--|-----|----|-----|
| | | | 行政 | 団体 | 平均 |
| 事業実施前 | 1 | 協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 2 | 事業の到達目標を協議して設定しましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 3 | 事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。 | 3 | 4 | 3.5 |
| | 4 | 事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。 | 4 | 3 | 3.5 |
| 事業実施中 | 5 | 進捗管理、必要な情報を共有しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 6 | 状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 7 | お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 事業実施後 | 8 | 設定した目標は達成できましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 9 | 協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。 | 5 | 5 | 5 |
| | 10 | 責任の所在や役割分担は適切でしたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 11 | 事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。 | 4 | 3 | 3.5 |
| | 12 | 予算は妥当でしたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 13 | 事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。 | 4 | 4 | 4 |

| | | | | |
|----|-------------------------------------|---|---|---|
| 14 | 協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。 | 4 | 4 | 4 |
|----|-------------------------------------|---|---|---|

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理由 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |
| | |

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

| | |
|------------|---|
| 団体 にとって | <ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校へ案内チラシを毎月配布し、開催案内を参加対象者に届けることができた。 ・安定した財源により継続して運営し、関わるスタッフの確保ができた。 ・活動の周知の手段として、「広報はんなん」への掲載や公立小中学校へ案内チラシを確実に届けることができた。 ・引き続き開催場所の確保ができた。 |
| 行政 にとって | <ul style="list-style-type: none"> ・行政だけでは人材確保や財政面で事業展開が困難であり、協働にて事業を行うことにより、市民、利用者ニーズに合わせた事業展開を図ることができた。 |
| 市民 にとって | <ul style="list-style-type: none"> ・放課後や土曜日の子どもの居場所ができた。 ・コロナ禍でも安心してあそべる場所ができた。 |

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

| | |
|------------|--|
| 団体 にとって | <p>①「連絡先カード」提出を参加条件にしているため、提出することができない事情があり、居場所を求めている子どもたちの受け入れができないことがあったことについて ⇒「連絡先カード」がない子どもの受け入れを柔軟に対応していきたい。 例えば子どもが所属している学校と学年は分かるので、緊急事態の連絡先把握を「はらっぱ」→「生涯学習推進室」→「各学校」と連携を取りながら行う等。</p> <p>②「広い場所」の確保について ⇒コロナ禍で子ども達や付き添いの保護者も距離を保ちながら、安心して過ごせる場所の確保が重要。</p> <p>③行政との情報共有について ⇒毎月の参加人数や子どもの様子の報告を行っているものの、行政と定期的に情報交換の機会を持つことが出来ず、事業に対しての課題や現状など共有が十分にできていないことについて、今後は、行政と定期的に連携会議を持ちながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所をよりよいものにしていく。</p> |
| 行政 にとって | <p>①団体との情報共有について ⇒新型コロナ禍の、その対策方針の変更がある中において、事業の進め方について十分な情報共有ができなかった部分があり、今後は定期的な情報交換も含め、よりスムーズな情報共有を行っていきたい。</p> |

市民
にとって

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
 終了する（その理由：）
 市が単独で実施する（その理由：）
 団体が単独で実施する（その理由：）
 その他（）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

- 子どもの放課後の居場所事業の実績とその必要性をより多くの方に伝えるため情報発信し、特に土曜日午前開設については学校区の地域の方や保護者の方、また学校（先生方）にも理解と協力を求めていきたい。
- 阪南市のすべての子どもたちが、「キッズはらっぱ」を利用できるように、小学校区に一つ子どもの居場所の設置が理想としているが、①人材確保が難しい②子ども居場所に適した場所がないといった課題があり、そのため多くの人に子どもの居場所「キッズはらっぱ」の必要性を知ってもらうことで、人材確保や場所について協力を求める。
- 阪南市の子ども達の現状を把握し、ニーズに合った居場所ができるよう、より細やかな情報共有を図る必要がある。
- 財源については、国の新・放課後子どもプランに基づく放課後子ども教室推進事業として、大阪府教育コミュニティづくり推進事業補助金を受けており、対象経費を国・府・市において1/3ずつ負担している。今後も市の第2期阪南市子ども・子育て支援事業計画に基づき市において予算措置を行う予定。

(5) その他

- コロナ禍で子どもたちの生活も変化し、自宅でオンラインゲームをして遊ぶことが増えているが、放課後の居場所事業を実施することで、参加する子どもたちへ「対面での関わり」等の大切さを伝えていきたい。
- 放課後開催のキッズはらっぱに参加できない子どもたちに対し、土曜日のキッズはらっぱを開催することにより、思いっきりあそべる場所を提供していきたい、また、学童保育と連携を取りながらより多くの子どもが利用できるようにしていきたい。
- 放課後子どもの居場所事業は市または団体が単独の実施は難しく、今後も継続させていくためには、協働での事業実施は不可欠である。子どもたちが健やかに過ごせるまちづくりへと繋げていくためにも双方の関係性をより深め協力し、事業の発展へと繋げていきたい。

| | | | | | |
|----------|---------|------|----|-----|---------|
| 2年目の事業費計 | 48,000円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 48,000円 |
| 3年目の事業費計 | 48,000円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 48,000円 |
| 9年目の事業費計 | 0円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 0円 |

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称：パート別個人レッスン・全体合奏レッスン・阪南吹奏楽団との合同練習
 ②開催日時及び実施中学校
 4/27貝掛中学校（パート）・5/10鳥取中学校（パート）・6/6鳥取東中学校（パート）
 7/2鳥取東中学校（全体合奏）・7/3貝掛中学校（全体合奏）・7/18飯の峰中（全体合奏）
 7/21鳥取東中学校（全体合奏）・7/25貝掛中学校（全体合奏）・12/9飯の峰中学校（パート）
 1/21鳥取中学校（合同練習）・2/25鳥取東中学校（合同練習）・3/4鳥取中学校（全体合奏）
 3/19（日）せんなん里海さくらフェスにて鳥取中学校・貝掛中学校・鳥取東中学校と阪南吹奏楽団で
 ジョイントコンサート及び合同演奏の予定
 ※（）内のパート及び全体合奏はコロナ禍で阪南吹奏楽団の活動が休止していたため、寺島個人が指導、
 合同練習については、阪南吹奏楽団の活動再開し定期演奏会明けをまってようやく実施。
 ③開催場所：市内中学校吹奏楽部の校舎内
 ④対象者： 中学校吹奏楽部員と阪南吹奏楽団員
 ⑤参加人数：各中学校の吹奏楽部員・寺島個人及び阪南吹奏楽団15名程度
 ⑥事業の内容：楽器の演奏技術の向上と演奏のレベルアップ、夏の大阪府吹奏楽コンクール対策
 ⑦収 益：ボランティア活動につき収益はなし
 ⑧その他：なし

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

吹奏楽部に所属されている生徒さん達の演奏技術向上の手助けができ、また吹奏楽への理解度を深める事により、生徒さん達の向上心を育てることができた。
 貝掛中学校さんは夏の吹奏楽コンクール南地区大会にて金賞を受賞された上に、地区代表として推薦され、大阪府大会にて銀賞を受賞されました。
 鳥取東中学校と貝掛中学校さんは、今年の冬のソロのコンテストで金賞受賞者を輩出されています。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

今年の前半はコロナ禍で阪南吹奏楽団自体の活動が休止していたため、日本吹奏楽指導者協会公認指導者の代表が個人として学校に訪問して指導をして頂きました。（感染拡大防止の観点も鑑みて）
 阪南吹奏楽団の活動が再開してからは、定期演奏会明けの令和5年1月からは、合同練習を再開しております。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

| | 評価項目 | | 評価点 | | |
|-------|------|--|-----|----|----|
| | | | 行政 | 団体 | 平均 |
| 事業実施前 | 1 | 協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 2 | 事業の到達目標を協議して設定しましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 3 | 事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。 | 2 | 2 | 2 |
| | 4 | 事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| 事業実施中 | 5 | 進捗管理、必要な情報を共有しましたか。 | 2 | 2 | 2 |
| | 6 | 状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 7 | お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| 事業実施後 | 8 | 設定した目標は達成できましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 9 | 協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 10 | 責任の所在や役割分担は適切でしたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 11 | 事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 12 | 予算は妥当でしたか。 | 2 | 2 | 2 |
| | 13 | 事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 14 | 協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。 | 3 | 3 | 3 |

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理由 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

| | |
|------------|---|
| 団体 にとって | 地元中学生を育てることにより、将来の人材を育成することができた。 進路先の高校での活躍を期待しています。 |
| 行政 にとって | 演奏の専門家とともに練習を行うことで、子どもたちの楽器に対する理解を深めることができた。 |
| 市民 にとって | 顧問の先生だけでは指導しきれない各楽器の演奏方法を楽団員からレクチャーすることにより、理解を深める事ができた。 |

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 団体 にとって | 仕事や学校があるので、パートによっては参加できない楽団員が出てしまうこと。 |
| 行政 にとって | 特になし |
| 市民 にとって | |

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■ 継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

令和4年度に訪問できなかった学校とも調整をして、合同練習を行う予定をしております。
また代表個人が行っている合奏練習の指導についても、継続的に行う予定をしております。

(5) その他

阪南市協働事業評価シート

記入日 2023年3月7日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

| | |
|---------|----------------------------------|
| 団体名 | 男里川水系環境保全活動実行委員会（担当者名：成子和弘） |
| 担当課名 | 河川農水課（担当者名：廣谷敏幸） |
| 事業名 | 男里川水系環境保全活動 |
| 事業の実施期間 | 令和4年（2022年）4月1日～令和5年（2023年）3月31日 |
| 提案の区分 | 市民自由提案部門 |
| 協働の形態 | 実行委員会・協議会 |
| 事業の年度 | 継続複数年（10年目） |

1. 事業の概要

（1）事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

男里川は、昔から農業用水、工業用水、生活用水として貴重な役割を果たしてきた。また多くの水生生物が生息している。この男里川水系を阪南市の宝として地域の方々がその素晴らしさを実感し、また環境保全活動の重要性を理解し、その環境を孫子の代まで受け継いでもらうことを目的としている。

（2）役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

| | |
|-------|---|
| 団体 | 男里川水系全域の年1回の一斉清掃 男里川環境保全啓発ポスター募集、そのカレンダー作成と配布 水辺の学校（小学4年生）の男里川での体験学習 親子水生生物観察会（夏休みに実施） |
| 事業担当課 | 清掃活動への協力要請、ゴミの処分 その他活動に関わる応援 |

（3）事業費

| | |
|----|------|
| 団体 | 約3万円 |
| 市 | 0円 |
| 合計 | 約3万円 |

| | | | |
|----------|-----|---------|--------|
| 6年目の事業費計 | 3万円 | 団体分担3万円 | 市分担 0円 |
| 7年目の事業費計 | 3万円 | 団体分担3万円 | 市分担 0円 |
| 8年目の事業費計 | 3万円 | 団体分担3万円 | 市分担 0円 |
| 9年目の事業費計 | 3万円 | 団体分担3万円 | 市分担 0円 |

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

- ① 名称 : 男里川水系一斉清掃
- ② 開催日時 : 2月18日(土)10時~12時
- ③ 開催場所 : 男里川水系全域
- ④ 対象者 : 阪南市、泉南市の市民、行政の皆さん
- ⑤ 参加人数 : 68名
- ⑥ 事業の内容 : 男里川の清掃活動
- ⑦ 収益 : なし

- ① 名称 : 男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成
- ② 開催日時 : 夏休み
- ③ 開催場所 : 阪南市内
- ④ 対象者 : 阪南市内の小・中・高校生
- ⑤ 参加人数 : 約200名
- ⑥ 事業内容 : 環境啓発を目的としたポスター製作、そのカレンダー印刷配布
- ⑦ 収益 : なし

- ① 名称 : 男里川水系、水辺の学校
- ② 開催日時 : 9月28日(水)10時~12時
- ③ 開催場所 : うど橋周辺
- ④ 対象者 : 小学4年生(尾崎小学校)
- ⑤ 参加人数 : 34名
- ⑥ 事業の内容 : 男里川の水生生物の捕獲体験、観察。川の防災、汚染防止学習
- ⑦ 収益 : なし

- ① 名称 : 夏休み親子水生生物観察会
- ② 開催日時 : 毎年8月11日
- ③ 開催場所 : うど橋付近
- ④ 対象者 : 阪南市市民
- ⑤ 参加人数 : 32名
- ⑥ 事業の内容 : 男里川の水生生物捕獲、捕獲した生物観察会、講師先生の生物解説
- ⑦ 収益 : なし

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
 ※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

- ①男里川水系一斉清掃活動：日頃から環境美化に熱心に取り組んでいる方々、また自治会活動として参加。ひとりではなかなか掃除できないが、一斉にみんなで一緒にやることで成果が上がっている。市長や議員さん役所の方々にも応援いただきとても心強い。
- ②男里川環境啓発ポスター：強制ではないのに、各学校より毎年多くのポスターが寄せられる。環境美化に関心のある子ども達が多いのでとてもうれしい。そのポスターを掲載したカレンダーは学校の先生やご父兄の方々にも大変好評いただいている。
- ③水辺の学校：日頃、男里川で遊ぶ子は皆無に等しい。この活動を通じ、子供も達は身近に素晴らしい自然や生物がいることを実感している。学校の校長先生また担任の先生方にも喜んでいただいている。
- ⑤夏休み親子水生観察会：地元の人でも、男里川で遊んだり魚釣りをする人はいない。この活動を通じ、川に住む生物についていろいろ知っていただき、男里川にとっても愛着を感じていただいている。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

- ①男里川掃除日とゴミ回収日を同じ日にすることにより、半日ですべての作業が済む。
- ②環境啓発ポスター、教育委員会から市内すべての学校に要請して下さるので助かる。まとめてカレンダーにすると、みんなが作成したポスターを大勢の方々に見てもらえるので好評。今回、ポスターだけでなく市のInstagramで公開した。
- ③水辺の学校も親子水生観察会も、民間団体の役員だけでは難しいが、協業で用具の準備や川の防災教育、水の汚染教育などしていただけるのがありがたい。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点）
 - ・よくできた（4点）
 - ・できた（3点）
 - ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点）
 - ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

| | 評価項目 | | 評価点 | | |
|----|------|-----------------------------------|-----|----|-----|
| | | | 行政 | 団体 | 平均 |
| 事業 | 1 | 協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。 | 3 | 4 | 3.5 |
| | 2 | 事業の到達目標を協議して設定しましたか。 | 3 | 3 | 3 |

| | | | | | |
|-------|----|--|---|---|-----|
| 実施前 | 3 | 事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。 | 3 | 4 | 3.5 |
| | 4 | 事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 事業実施中 | 5 | 進捗管理、必要な情報を共有しましたか。 | 3 | 4 | 3.5 |
| | 6 | 状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。 | 3 | 4 | 3.5 |
| | 7 | お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 事業実施後 | 8 | 設定した目標は達成できましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 9 | 協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。 | 4 | 5 | 4.5 |
| | 10 | 責任の所在や役割分担は適切でしたか。 | 3 | 5 | 4 |
| | 11 | 事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 12 | 予算は妥当でしたか。 | 2 | 4 | 3 |
| | 13 | 事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 14 | 協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。 | 3 | 4 | 3.5 |

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理由 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |
| | |

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

| | |
|--------|--|
| 団体にとって | <ul style="list-style-type: none"> ・男里川の掃除：ゴミの収集をその日のうちにやってもらえる。 ・啓発ポスター：教育委員会から市内すべての学校に要請してもらえる。 ・水辺の学校：学校行事として取り組んでもらえる。防災教育をやってもらえる |
| 行政にとって | 活動を通じて環境保全の意識向上や、市内の清掃に参加するきっかけとなった。 |
| 市民にとって | |

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

| | |
|------------|--|
| 団体 にとって | 10年も続いている事業なので、どれもうまくいっている。特にゴミの収集処理は民間だけでは難しいが協業なのでスムーズに行なえる。 |
| 行政 にとって | 本市の財政状況の悪化と人員の減少により、活動への支援が十分ではない。 |
| 市民 にとって | |

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

継続する

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

- ・ 男里川清掃活動：参加者を増やすためにどうすればいいか、役員で考える。
広報紙や回覧板でのPRだけでなく、個人的なつながりや、他の市民活動とのつながりなどを通じ参加者を増やす。
- ・ 啓発ポスター：より大勢の子供達にポスターを描いてもらえるようにするかよく考える
インスタグラムに投稿したが、それをみんなに見てもらう方法を考える
ポスターを無料で配っているが、財源が少ないので別の方法を考える。
- ・ 水辺の学校：尾崎小学校の4年生を対象としている。今の講師先生が引退するので、次の講師を選任しなければならない。
- ・ 親子観察会：8月に実施しているが、暑すぎるので7月に変更予定

(5) その他

| |
|--|
| |
|--|

阪南市協働事業評価シート

記入日 令和5年2月16日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

| | |
|---------|---|
| 団体名 | 子どもNPOはらっぱ (担当者名：川端 智代) |
| 担当課名 | 学校教育課 (担当者名：花元 英夫) |
| 事業名 | 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル |
| 事業の実施期間 | 令和4年(西暦2022年)4月1日 ~ 令和5年(2023年)3月31日 |
| 提案の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門 |
| 協働の形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他() |
| 事業の年度 | <input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年(9年目) |

1. 事業の概要

(1) 事業の目的(事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

子どもたちが安心、安全に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために子どもたちの心に寄り添い、声を聴き、提案団体と行政の情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。

(2) 役割分担(団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

| | |
|-------|--|
| 団体 | 様々な事業を通じて得る子どもの現状や子どものまわりで起きている問題等の情報を担当課と共有して解決改善を図り、協力して子どもの育ちを支える。 |
| 事業担当課 | 学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課、それぞれの担当課から市内の子どもへのかかわりを紹介する。団体と連携できる事業などについて検討し、市内の子どもたちの健全な育成につなげる。 |

(3) 事業費

| | | | |
|----|---|---|--------------------|
| 団体 | 0 | 円 | 費目を記入 |
| 市 | 0 | 円 | 費目を記入((例)補助金、委託費等) |
| 合計 | 0 | 円 | |

| | | | | | |
|----------|---|------|---|-----|---|
| 初年度の事業費計 | 円 | 団体分担 | 円 | 市分担 | 円 |
| 2年目の事業費計 | 円 | 団体分担 | 円 | 市分担 | 円 |

| | | | | | |
|----------|---|------|---|-----|---|
| 3年目の事業費計 | 円 | 団体分担 | 円 | 市分担 | 円 |
| 年目の事業費計 | 円 | 団体分担 | 円 | 市分担 | 円 |

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

| | |
|--------|---------------------------------------|
| ①名称 | 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル |
| ②開催日時 | 令和5年1月6日 16:00~17:00 |
| ③開催場所 | 阪南市役所3階 全員協議会室 |
| ④対象者 | NPO はらっば、学校教育課、生涯学習推進室、こども支援課、こども政策課、 |
| ⑤参加人数 | 13人 |
| ⑥事業の内容 | NPO と各課（室）の取組などの共有 |
| ⑦収益 | なし |
| ⑧その他 | |

コロナ禍で時間を短縮し、1回のみで開催となったが、団体と担当課の間でそれぞれの取り組みを共有し、
阪南市の子どもの現状について情報交換した。

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。
※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

参加者は想定した人。久しぶりにコロナ禍での子どもたちの学校や家庭での生活について話すことができ、関係を再度深めていくきっかけとなった。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

団体の様々な事業の中で聞く家庭や地域での子どもたちの様子や問題を担当課に届け、担当課から得た情報を伝えるようにした。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

| | 評価項目 | | 評価点 | | |
|-------|------|--|-----|----|----|
| | | | 行政 | 団体 | 平均 |
| 事業実施前 | 1 | 協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 2 | 事業の到達目標を協議して設定しましたか。 | 2 | 3 | 3 |
| | 3 | 事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。 | 2 | 2 | 2 |
| | 4 | 事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。 | 2 | 2 | 2 |
| 事業実施中 | 5 | 進捗管理、必要な情報を共有しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 6 | 状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 7 | お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 事業実施後 | 8 | 設定した目標は達成できましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 9 | 協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。 | 3 | 4 | 3 |
| | 10 | 責任の所在や役割分担は適切でしたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 11 | 事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。 | 2 | 2 | 2 |
| | 12 | 予算は妥当でしたか。 | 3 | 2 | 2 |
| | 13 | 事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 14 | 協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。 | 3 | 3 | 3 |

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

| 番 号 | 理 由 |
|-----|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

| | |
|------------|---|
| 団体 にとって | 団体が行う様々な事業を通じて見えてくる子どもの現状や課題を担当課と情報共有し、情報交換ができる関係づくりになっている。 |
| 行政 にとって | お互いの情報交換ができた。今後、様々な課題解決を検討できる関係を持つことができた。 |
| 市民 にとって | |

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

| | |
|------------|--|
| 団体 にとって | コロナ禍でも情報交換の場を持つ意義を感じているが、子どもの現状と課題を解決するための取り組みを協働事業として考えていきたい。 |
| 行政 にとって | お互いの取組について情報を交換することができたが、今後の共通の目標の設定などにたどり着くことができていない。 |
| 市民 にとって | |

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

- 初年度の場合、今後も協働事業として実施する（提案事業継続 提案事業以外）
- 終了する（その理由： _____）
- 市が単独で実施する（その理由： _____）
- 団体が単独で実施する（その理由： _____）
- その他（ _____）

■継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

阪南市の子どもの現状を子どもに関係する課と情報共有する意義ある機会となっている。今後も有効な情報交換の場となるよう実施方法を工夫し、課題解決に向けて市民協働で連携できる事業などについても検討していきたい。

(5) その他

| |
|--|
| |
|--|

阪南市協働事業評価シート

記入日 2023年 2月 7日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

| | |
|---------|--|
| 団体名 | 本のリサイクル運営委員会 (担当者名: 森本 典子) |
| 担当課名 | 図書館 (担当者名: 籠谷 早織) |
| 事業名 | 本のリサイクル関連事業 |
| 事業の実施期間 | 平成 29 年 (西暦 2017 年) 9月 16日～ 年 (年) 月 日 |
| 提案の区分 | <input type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input checked="" type="checkbox"/> 市設定テーマ部門 (本と雑誌のリサイクル) |
| 協働の形態 | <input type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 事業の年度 | <input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続 2 年目 <input type="checkbox"/> 継続 3 年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年 (6 年目) |

1. 事業の概要

(1) 事業の目的 (事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

市立図書館の除籍済み資料及び不要とする寄贈資料を最大限活用して、その収益を社会還元すること

(2) 役割分担 (団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

| | |
|-------|--|
| 団体 | 除籍資料や不要な寄贈資料をリサイクル販売し、その収益を社会還元する。その活動を通じ、会員が生きがいを感じる場となり又本を媒介としての市民との交流の場とする。 |
| 事業担当課 | 市立図書館で除籍した再利用可能資料と不要な寄贈図書等をリサイクル運営委員会に無償譲与する。 |

(3) 事業費

| | |
|----|-----------------------|
| 団体 | 150,000 円 費目を記入 (売 |
| 市 | 0円 費目を記入 ((例) 補助金、委託費 |
| 合計 | 150,000 円 |

| | | | |
|------------------|-----------|----------------|---------------|
| 初年度(2017年度)の事業費計 | 329,486 円 | 団体分担 13,450 円 | 市分担 316,036 円 |
| 2年目(2018年度)の事業費計 | 355,527 円 | 団体分担 355,527 円 | 市分担 23,760.円 |

| | | | |
|------------------|--------------|----------------|--------------|
| 3年目(2019年度)の事業費計 | 243,077 円 | 団体分担 243,077 円 | 市分担 0 円 |
| 4年目(2020年度)の事業費計 | 137,240 円 | 団体分担 137,240 円 | 市分担 32,450 円 |
| 5年目(2021年度)の事業費計 | 97,308 円 | 団体分担 97,308 円 | 市分担 0 円 |
| 6年目(2022年度)の事業費計 | 見込 150,000 円 | 団体分担 150,000 円 | 市分担 0 円 |

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

①名称： 本のリサイクル運営委員会 リサイクルブック “つながり”

②開催日時

- ・店舗：毎週土曜日 10:00 ~ 12:00 & 13:00 ~ 15:00
- ・運営会議：毎月第1木曜日 10:15 ~ 12:00
(1月・5月は第2木曜日、4月は総会のため休会)
- ・総会：毎年4月第2木曜日
- ・役員会：随時必要に応じて
- ・各班活動：随時必要に応じて

③開催場所： サラダホール1Fつながりスペース

④対象者：“つながり”会員 (現在 28名)

⑤参加人数：“つながり”会員全員

⑥事業の内容

市立図書館の除籍済み資料及び不要とする寄贈資料を最大限活用して、その収益を社会還元する。その活動を通じて、“つながり”会員全員が生きがいを感じる市民活動の場にする。また、本を媒介としてのつながりスペースを市民交流の場とする。

具体的には、上記の通り、毎週土曜日の午前・午後にリサイクルブック “つながり” を開店し、資料のリサイクル販売を実施している。毎月1回運営委員会を開き、案件事項を検討・対処する。また、各班活動として、店内ディスプレイ、本の整理と配架、ブログ、インスタ発信、各種チラシ及びポスター作成、イベント企画、議事録印刷などがある。

2022年度1月末時点の実績は、来店者 2,135 人、売上冊数 4,698 冊、収益 207,042 円となっている。図書館からは 8,372 冊(内訳：除籍資料 3,904 冊・除籍雑誌 920 冊・不要となった寄贈資料 3,548 冊)が “つながり” へ譲与された。

社会還元の一環として、2023年度は図書館の雑誌 7 誌の雑誌スポンサーとなり、年間購読料を負担する予定である。

⑦収益： 2023年度見込み 243,000 円

⑧その他

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

図書館を考える会をベースとして、図書館フレンズ参加者が加わった形でスタートし、継続している。会員同士の交流が増え、意見交換も活発となり、参加者が楽しく・生きがいを感じる場となっている。また、少しずつではあるが、リサイクルブック “つながり” の存在がイベント、ブログやSNSなどを通じて、知られるようになり、市民交流の場となりつつあると感じている。

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

幅広い世代に活動をPRするため、ブログ・SNSなどの情報発信に努めている。
 活動紹介のチラシをリニューアルし、より多くの人に配布していく。また、つながりの葉を作成し、お客様に手渡している。

2. 協働事業の評価

- 下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - 大変よくできた（5点）
 - よくできた（4点）
 - できた（3点）
 - あまりできなかった（2点）
 - できなかった（1点）
 - 評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

| | 評価項目 | | 評価点 | | |
|-------|------|--|-----|----|----|
| | | | 行政 | 団体 | 平均 |
| 事業実施前 | 1 | 協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 2 | 事業の到達目標を協議して設定しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 3 | 事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 4 | 事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 事業実施中 | 5 | 進捗管理、必要な情報を共有しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 6 | 状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。 | 5 | 5 | 5 |
| | 7 | お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 事業実施後 | 8 | 設定した目標は達成できましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 9 | 協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。 | 5 | 5 | 5 |
| | 10 | 責任の所在や役割分担は適切でしたか。 | 5 | 5 | 5 |
| | 11 | 事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 12 | 予算は妥当でしたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 13 | 事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。 | 4 | 4 | 4 |

| | | | | |
|----|-------------------------------------|---|---|---|
| 14 | 協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。 | 4 | 4 | 4 |
|----|-------------------------------------|---|---|---|

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理由 |
|----|----|
| | |

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

| | |
|------------|---|
| 団体 にとって | 今年度も新型コロナウイルス感染症対応という状況において、行政・図書館・他団体の情報を共有することで、店の営業中止・再開、予防対策対応等で適切に実施できた。 |
| 行政 にとって | 図書館で不要となった本が活用され、その収益が市立図書館の資料購入に使われていることで、市の読書活動が推進されている。 |
| 市民 にとって | 新しい人と人とのつながりも生まれ、市民交流が広がっている。 |

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

| | |
|------------|--|
| 団体 にとって | つながりスペースを共有する団体が増えたため、利用時に発生する課題に対応する話し合いの場を設ける必要がある。 |
| 行政 にとって | 図書館運営が指定管理者に移管するにあたり、様々な情報の共有、状況変化に対応できる話し合いの場の必要性がある。 |
| 市民 にとって | 平日の営業を希望するお客様の声がある。平日営業を実施するには、店番の人数確保が必要であり、会員の増員が不可欠である。 |

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）

終了する（その理由： _____）

市が単独で実施する（その理由： _____）

団体が単独で実施する（その理由： 団体として、自立運営ができています。 _____）

その他（ _____）

継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

(5) その他

| |
|--|
| |
|--|

阪南市協働事業評価シート

記入日

令和5年3月9日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

| | | |
|---------|---|-----------------------------------|
| 団体名 | 一般社団法人 泉州バリアフリー協会 | （担当者名：嶋津 克彦） |
| 担当課名 | 市民福祉課・まちの活力創造課 | （担当者名：長瀬・楠本） |
| 事業名 | 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップ作製とバリアフリー観覧席設置 | |
| 事業の実施期間 | 令和4年（西暦2022年）4月1日～令和5年（2023年）3月31日 | |
| 提案の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 市民自由提案部門 | <input type="checkbox"/> 市設定テーマ部門 |
| 協働の形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他（ ） | |
| 事業の年度 | <input type="checkbox"/> 初年度 <input type="checkbox"/> 継続2年目 <input type="checkbox"/> 継続3年目 <input checked="" type="checkbox"/> 継続複数年（4年目） | |

1. 事業の概要

（1）事業の目的（事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください）

泉州地域におけるバリアフリーを推進し、情報発信することによって、バリアフリーマーケットを確保し、循環型地域経済の再構築をめざす。又、ユニバーサルツーリズムの観点から、地域の豊かな自然環境、産業、歴史など様々な観光資源をあらゆる人が享受できるよう、また「おもてなしの心」を持って紹介し、障がい者や高齢者が健常者とともに暮らすノーマライゼーション社会を寄与する事を目的とする。

（2）役割分担（団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください）

| | |
|-------|---|
| 団体 | 阪南市やぐらパレードバリアフリー点検の実施。 阪南市やぐらパレードバリアフリーマップの作成。 阪南市やぐらパレードコース、尾崎駅界隈の街歩き。 |
| 事業担当課 | 阪南市やぐらパレードバリアフリー観覧席の設置。 |

（3）事業費

| | |
|----|-----------------------|
| 団体 | 0円 費目を記入 |
| 市 | 0円 費目を記入（（例）補助金、委託費等） |
| 合計 | 0円 |

| | | | | | |
|----------|----------|------|----------|-----|----|
| 初年度の事業費計 | 123,768円 | 団体分担 | 123,768円 | 市分担 | 0円 |
| 2年目の事業費計 | 0円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 0円 |
| 3年目の事業費計 | 0円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 0円 |

| | | | | | |
|----------|----|------|----|-----|----|
| 4年目の事業費計 | 0円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 0円 |
|----------|----|------|----|-----|----|

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

| | |
|--------|---|
| ①名称 | 阪南市やぐらパレード |
| ②開催日時 | 令和4年10月2日(日) 15:30~18:00 |
| ③開催場所 | 阪南市役所周辺 |
| ④対象者 | 観覧者全員 |
| ⑤参加人数 | 34名 |
| ⑥事業の内容 | バリアフリー観覧エリアの設置、やぐらパレード見どころマップに観覧エリア掲載 |
| ⑦収益 | 無し |
| ⑧その他 | 新型コロナウイルス感染症対策として、市役所前セレモニーが開催されなかったことに伴い、バリアフリー観覧エリアを下出住民センター駐車場に設置。 |

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・想定どおり。間近で見られることに加え安心して見られることから高評価を得た。 |
|--|

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

これまで市とやぐらパレード評議会が設置場所等調整していたが、今回は（一社）泉州バリアフリー協会をやぐらパレード評議会につなぎ、直接調整を行った。

- ・一般社団法人 泉州バリアフリー協会：現地案内
- ・やぐらパレード評議会：テントの運搬・設置・撤去
- ・市：バリアフリー啓発、テント貸出

2. 協働事業の評価

- ・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。
 - ・大変よくできた（5点）
 - ・よくできた（4点）
 - ・できた（3点）
 - ・あまりできなかった（2点）
 - ・できなかった（1点）
 - ・評価項目として適当でない（N）
- ※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

| | 評価項目 | | 評価点 | | |
|-------|------|--|-----|----|----|
| | | | 行政 | 団体 | 平均 |
| 事業実施前 | 1 | 協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。 | 5 | 5 | 5 |
| | 2 | 事業の到達目標を協議して設定しましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 3 | 事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。 | N | N | N |
| | 4 | 事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| 事業実施中 | 5 | 進捗管理、必要な情報を共有しましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 6 | 状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 7 | お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| 事業実施後 | 8 | 設定した目標は達成できましたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 9 | 協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。 | 2 | 2 | 2 |
| | 10 | 責任の所在や役割分担は適切でしたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 11 | 事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。 | 2 | 2 | 2 |
| | 12 | 予算は妥当でしたか。 | 5 | 5 | 5 |
| | 13 | 事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。 | N | N | N |
| | 14 | 協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。 | 3 | 3 | 3 |

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理由 |
|----|----|
|----|----|

| | |
|----|-----------------------|
| 3 | 計画書を作る程度の事業規模ではなかったため |
| 13 | 取組は継続するが、事業としては終了するため |
| | |
| | |

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

| | |
|------------|--|
| 団体 にとって | ソフト・ハード両面において、バリアフリー・ユニバーサルなまちづくりができる人材の育成に繋がった。 |
| 行政 にとって | バリアフリーの意識啓発ができた。 |
| 市民 にとって | 車いすをご利用されている方に限らず、高齢者や子どもの休憩スペースにもなり、安心して観覧できた。 |

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

| | |
|------------|---|
| 団体 にとって | 継続的に同じ場所で実施する必要がある。 コロナ禍以前に戻れば、テント数の不足が予想される。 |
| 行政 にとって | コースの都合上、利用されにくい場所に設置された。 行政の調整・報告書作成に係る業務負担及びパレード評議会の労力が大きい。 |
| 市民 にとって | 知らない方が多い。観覧席にたどり着くまでに道路等困難がある。 |

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）

終了する（その理由：パレード評議会と直接やり取りでき、毎年の事業として定着できたため。 ）

市が単独で実施する（その理由： ）

団体が単独で実施する（その理由： ）

その他（ ）

継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

(5) その他

- 今年度直接パレード評議会と調整でき、来年度も取組を継続していくことを確認していることから、取組が定着し本協働事業に頼る必要が無くなったことで、前向きな事業終了となった。
- 次年度以降は、やぐらパレードに併せてまち歩きも実施予定。
- 大阪観光局に新設されたユニバーサルツーリズム部局との連携や、関西空港内での車いす貸出ブースなどで活動していくことを検討している。

阪南市協働事業評価シート

記入日令和3年 3月 7日

阪南市協働事業提案制度を活用して協働で実施した事業について、成果と課題を広く共有するために、提起した視点で事業の評価を行ってください。

| | |
|---------|--|
| 団体名 | 泉州電波発信協会 (担当者名: 仲谷進、栗瀬誠) |
| 担当課名 | シティプロモーション推進課 (担当者名: 新田恭子、芝崎麻季) |
| 事業名 | 阪南市コミュニティ web 配信「はなてい ch.」 |
| 事業の実施期間 | 令和 4 年 (西暦 2022年) 4月1日～ 5 年 (2023年) 3 月31日 |
| 提案の区分 | <input type="checkbox"/> 市民自由提案部門 <input checked="" type="checkbox"/> 市設定テーマ部門 (阪南 TV/インターネットテレビ) |
| 協働の形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 協働委託 <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 事業の年度 | <input type="checkbox"/> 初年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 2 年目 <input type="checkbox"/> 継続 3 年目 <input type="checkbox"/> 継続複数年 (年目) |

1. 事業の概要

(1) 事業の目的 (事業を企画した課題、現状、背景についても記入してください)

本業務は、インターネット動画サービス YouTube を利用し放送を行っている「阪南 TV」にて、市政情報を中心とした「お知らせ型」情報発信となっている現状課題を解決するため、多様な民間活力を積極的に活用することで、市の情報発信に加え、地域の話題に特化したコンテンツを多彩に展開し、本市の魅力を効果的・広域的に発信、更なる認知度の向上、交流人口の獲得及びシビックプライドの醸成につなげることを目的とする。

(2) 役割分担 (団体、事業担当課それぞれの役割を記入してください)

| | |
|-------|--|
| 団体 | 映像コンテンツの企画提案→市担当者と番組制作会議→撮影→編集→成果品の納品 |
| 事業担当課 | 団体と番組制作会議→取材先とのアポイントメント調整 (必要時) →撮影同行 (必要時) →成果品の納品確認→阪南 TV 放送 |

(3) 事業費

| | | |
|----|----------|-------------|
| 団体 | 0 円 | 費目を記入 |
| 市 | 499,200円 | 費目を記入 (委託費) |
| 合計 | 499,200円 | |

| | | | | | |
|----------|----------|------|----|-----|----------|
| 初年度の事業費計 | 456,700円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 456,700円 |
| 2年目の事業費計 | 499,200円 | 団体分担 | 0円 | 市分担 | 499,200円 |

| | | | | | |
|----------|---|------|---|-----|---|
| 3年目の事業費計 | 円 | 団体分担 | 円 | 市分担 | 円 |
|----------|---|------|---|-----|---|

(4) 事業の内容

※名称・日時・場所・参加人数・内容・収益など具体的に記入してください。

※活動の写真や資料があれば、添付してください。

| | |
|--------|--|
| ①名称 | 阪南TV用映像コンテンツ はなてい ch. |
| ②開催日時 | 毎月第3火曜日 |
| ③開催場所 | 市内各所 |
| ④対象者 | 阪南TV視聴者 |
| ⑤参加人数 | パーソナリティ1～7名(泉鳥取高校生)月により変動。 取材先関係者、泉州電波発信協会2名 |
| ⑥事業の内容 | 事業目的に沿った内容で、5分程度の映像を月に2本程度作成。 本市ならではの魅力を最大限に引き出し、分かりやすくPRする内容とすること。 市民だけでなく、国内外の幅広いターゲットや分野において活用できるもの。 前例にとらわれず、斬新で独創的な話題性を生み出すもの。 音楽(BGM)、字幕、コンピュータグラフィック、イラスト等を適宜挿入すること。 月1回の番組制作会議を市担当者と団体間で設ける。また、必要に応じ適宜打合せを行う。 |
| ⑦収益 | 0円 |

(5) 事業に参加したのは想定した人たちでしたか。参加した人たちの反応はどのようなものでしたか。

※その人たちや組織に何らかの変容があれば、それも交えて記入してください。

| |
|--|
| <p>昨年度より泉鳥取高校生のMCとしての出演企画・依頼し、今年度実現した。高校生の新しい感性で企画のアイデア出しを行った。新型コロナ感染拡大の影響で、イベントの中止はあったものの、東鳥取公民館の公民館祭りや天候による中止のみで、その他の撮影は滞りなく実施できた。</p> <p>1月放送では尾崎地区福祉委員会の協力を得て餅つき(伝統文化継承)を行い、コロナ禍でも阪南市の魅力が伝わる番組構成を団体と市で、協力してアイデア出しを行った。市民、市民団体や阪南市文化協会など多くの方に参画してもらい、それぞれの活動のPRにつなげることができた。そのことがきっかけとなり本編のことことHANNAN♪の出演にもつながり、阪南TV自体の内容の充実を図ることもできた。</p> |
|--|

| |
|--|
| |
|--|

(6) 協働で事業を進めるにあたり、工夫した点があれば、記入してください。

新型コロナ感染拡大に伴うイベント等の中止もあり、企画どおりの内容を撮影することができない月もあったが、屋内でも撮影できる企画の考案や、生徒からのアイデア出しの募集などを行った。同団体との協働は2年目となり企画会議内でのアイデア出しは難航することもあったが、月1回の企画会議は必ず実行し、情報交換・情報共有を十分に行い、両者アイデア出しを入念に行った。昨年度と比べて、飲食店や小売店、教室などのご紹介の回数は減少したが、阪南市文化協会など新しい分野の市民団体の方々にも参画してもらうことができた。

2. 協働事業の評価

・下記の評価項目について、それぞれの立場から評価してください。評価基準は5段階としてください。

- ・大変よくできた（5点）
- ・よくできた（4点）
- ・できた（3点）
- ・あまりできなかった（2点）
- ・できなかった（1点）
- ・評価項目として適当でない（N）

※「N」を選択した場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

(1) 評価

| | 評価項目 | | 評価点 | | |
|-------|------|--|-----|----|-----|
| | | | 行政 | 団体 | 平均 |
| 事業実施前 | 1 | 協働で実施する事業の課題・背景や目的を両者で確認・共有しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 2 | 事業の到達目標を協議して設定しましたか。 | 4 | 2 | 3 |
| | 3 | 事業の計画書や工程表を協議して作成しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 4 | 事業を進めるための役割分担や責任を協議して決めましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 事業実施中 | 5 | 進捗管理、必要な情報を共有しましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 6 | 状況の変化に応じて、協議しながら、柔軟な対応ができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 7 | お互いの得意分野や人材・情報を活かし、協力しながら、事業を進めることができましたか。 | 3 | 4 | 3.5 |
| 事業実施後 | 8 | 設定した目標は達成できましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 9 | 協働で事業に取り組んだことで、単独で実施するより、成果を上げることができましたか。 | 3 | 2 | 2.5 |
| | 10 | 責任の所在や役割分担は適切でしたか。 | 3 | 3 | 3 |
| | 11 | 事業には、当事者、関係者をはじめ、多様な人たちの参加を促すことができましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| | 12 | 予算は妥当でしたか。 | 4 | 3 | 3.5 |

| | | | | |
|----|---------------------------------------|---|---|---|
| 13 | 事業を継続する場合、課題の解決策や今後の方針について、協議を行いましたか。 | 4 | 4 | 4 |
| 14 | 協働事業に取り組むことによって、組織に何らかの変化をもたらしましたか。 | 3 | 3 | 3 |

「N（評価項目として適当でない）」を選択した場合は、その理由を記入してください。

| 番号 | 理由 |
|----|----|
| | |

(2) 協働して良かったこと、どのようなことにメリットを感じたかなどを記入してください。

| | |
|------------|---|
| 団体 にとって | 改めて阪南市の良さ、協力して下さった人やお店、団体の大切さを確認することが出来た。 |
| 行政 にとって | 行政情報だけにとどまらない市の魅力につながる話題を放送することで、阪南 TV の認知度の向上、内容の充実度が今年の違った視点で実施できたこと。また団体には市では持ち得ない撮影・編集技術を用いた映像制作が実現し、「バラエティ番組」という形で阪南市のヒト・モノ・場所の魅力を発信することができた。 |
| 市民 にとって | 地元に着した話題をバラエティ豊かにコンテンツの制作を行うことで、市民の興味・関心につながったこと。また、市民・市民団体 PR の場を設けることで活躍の場・地域活性の創出につながることができた。本年度は泉鳥取高校が MC を努めたことで、市内在学生と市民との交流や、高校生の新しい感性、元気をあわせて伝えることができた。 |

(3) 協働して課題だと感じたこと、その改善点などを記入してください。

| | |
|------------|--|
| 団体 にとって | 課題：そもそもプラットフォームは YouTube ではない (Vimeo) 為、チャンネル登録を促しても生配信を見ている人には関係ない。YouTube のアップも 1 日ほどかかることと、FC 大阪のアカウントである為、効果が薄い。公式チャンネルでアップした方が、他の動画との総合的な効果は高いと考える。 |
| 行政 にとって | 課題：本年度はヒト、モノ、場所の魅力を伝える企画に重きを置いたため、「行政では取り扱いが難しい」とする境界線を示すことができなかった。団体との協働も 2 年目となり「阪南市の魅力を伝える」企画会議も毎月同じメンバーで行うため、情報共有は念入りに行うも、同じような企画内容になってしまう傾向にあった。 |
| 市民 にとって | 課題：YouTube の再生回数は月によってばらつきがあるものの増加傾向にはあるが、まだ阪南 TV の存在を知らない人がいること 改善点：引き続き SNS での発信やプレゼント企画、ロケ放送を実施するなど工夫が必要 |

(4) 今後の具体的な展開 ※団体と事業担当課が話し合い、記載ください。

初年度の場合、今後も協働事業として実施する（ 提案事業継続 提案事業以外）

■ 終了する（その理由：予算の金額に対しての業務量が見合わず、継続が難しいとの結果に至った。）

市が単独で実施する（その理由： ）

団体が単独で実施する（その理由： ）

その他（ ）

継続する場合

実施事業を今後、どのように活かし発展させるのか。また、団体は自主財源の確保方法などを含めた具体的な事業展開の内容など、補足事項を記入してください。

| |
|--|
| |
|--|

(5) その他

| |
|--|
| |
|--|